

【社会】

記憶めぐる新しい遺伝子発見 精神疾患の解明へ

2010年7月14日 21時48分

岐阜薬科大は14日、脳の記憶や認知機能にかかわる新たな遺伝子を発見したと発表した。精神疾患のメカニズム解明や新薬開発の手がかりになるという。

同大と神戸大などの研究グループは、記憶や学習に関係する海馬に多く存在する「ジアシルグリセロールキナーゼβ」と呼ばれる遺伝子に着目。この遺伝子を持たないマウスをつくったところ、脳の神経細胞に異常がみられたり、記憶障害があったという。

岐阜薬科大の原英彰教授は「この遺伝子はそううつ病などの精神疾患ともかかわりの深い遺伝子。今後さらに働きを調べたい」と話した。

(共同)